

1 新聖歌342番「神の子なるイエス」

1

神の子なるイエス わが心に
住ませ給もう 妙なるかな

※わが内に主は在す 奇しくも妙なり
わが内に在す主は 来るべき王なり

2

かくも主は悩み かくも愛し
主の花嫁と われをなしめ

5

イエスはわが持てる 全てなれば
乏しきことも 弱きもなし

静まって(献金・頌栄) コード譜別紙

静まって あなたこそ神であることを知る
静まって あなたこそ神であることを知る

神は 我らの避けどころ また力である
悩めるときのと近き 助けである

いま主を信頼する 山は動き 海に移ろうと
あなたの御手の中で 生き続ける 命ある限り

いま主を礼拝する あなただけに栄光を返し
あなたの愛にこたえ 生き続ける 全てを捧げて

聖霊の主よ

聖霊の主よ いまここに
臨んでください 新しく
砕き とかし 造り 満たし
聖霊の主よ いまここに

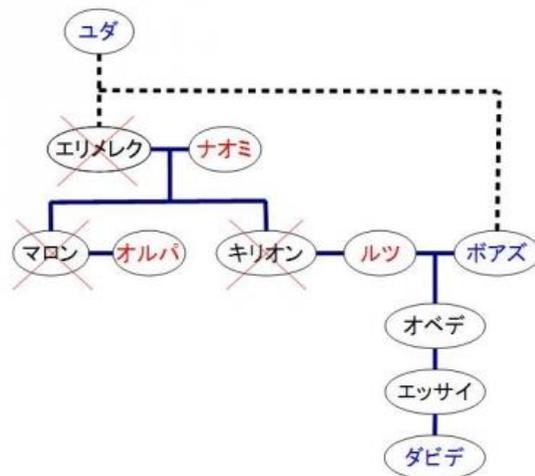
聖霊の主よ いまわれに
臨んでください 新しく
きよめ 助け 強め 燃やし
聖霊の主よ いまわれに

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

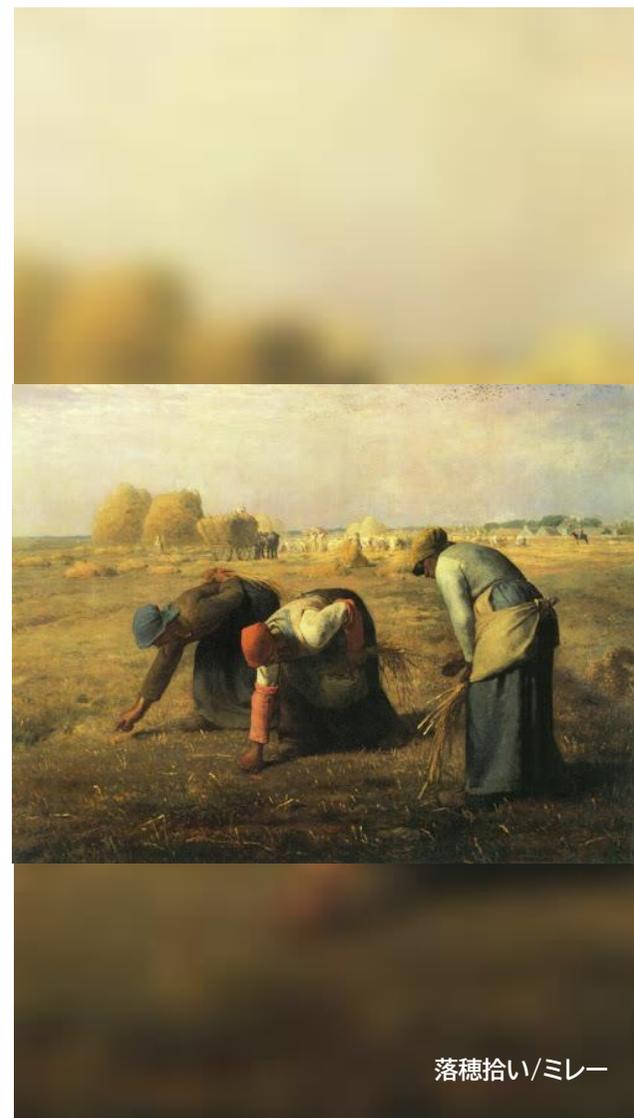
- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。



瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



落穂拾い/ミレー

祈りの小径(こみち)

Number:063 戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

使徒行伝2章37～47節

37 人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言った。38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。39 この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

40 ペテロは、ほかになお多くの言葉であかしをなし、人々に「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。41 そこで、彼の勧めの言葉を受け入れた者たちは、バプテスマを受けたが、その日、仲間に加わったものが三千人ほどあった。

42 そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

43 みんなの者におそのの念が生じ、多くの奇跡とするしとが、使徒たちによって、次々に行われた。44 信者たちはみな一緒にいて、いっさいの物を共有にし、45 資産や持ち物を売っては、必要に応じてみんなの者に分け与えた。46 そして日々心一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、47 神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

お伝えしたいこと

- ① 聖書という書物は、凄すぎる！
- ② ペンテコステに隠された真実は、凄すぎる！
- ③ 聖霊様がしてくださる御業を心に留めて、祈り求めよう！

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

五旬節(50日の意味)→ギリシャ語でペンテコステ＝七週の祭り(シャヴオット)
小麦の初穂の祭り

過越の祭りの安息日の翌日が「大麦の初穂の祭り」それから50日目の小麦の初穂(収穫)の祭り

出エジプト記34章22節

あなたは七週の祭、すなわち小麦刈りの初穂の祭を行わなければならない。また年の終りに取り入れの祭を行わなければならない。

ルツ記1章22節

こうしてナオミは、モアブの地から帰った嫁、モアブの女ルツと一緒に帰ってきて、大麦刈の初めにベツレヘムに着いた。

ルツ記2章23節

それで彼女はボアズのところで働く女たちのそばについていて穂を拾い、大麦刈と小麦刈の終るまでそうした。こうして彼女はしゅうとめと一緒に暮した。

4

みことばの解説



あなたの栄光を示してください！

Show us Your Glory! 出エジプト33の18

ペンテコステ(五旬節)は、聖霊降臨記念日であり、教会にとっては誕生日です。そこには旧約聖書から下準備された神様の大きな計画がありました。それを紐解くことで、聖霊様が私たちに何をもたらせてくださるかを聖書全体の視点から観ることができます。このように今、「ペンテコステの真実」というタイトルでお分かちしています。

(1) 混乱から一致への回復の成就

創世記11章のバベルの塔建設時に、神になろうと企てた人たちの言語が(それまで一つであったのに)神様によってバラバラになり、人々は散らされました。これは人の罪ゆえに神様の御心ではありません。それを贖う(回復する)計画がペンテコステで成就したのです。全世界から来ていた様々な言語の人たち一人一人に届くように、聖霊様は弟子たちに、「いろいろな他国の言葉」「彼らの生まれ故郷の国語」を授けられました。これは混乱からの回復の象徴なのです。

(2) み言葉に生きる人生への回復(み言葉を行う力の分与)

五旬節は律法がモーセに与えられた時期と重なります。今でも七週の祭りでは出エジプト記19・20章をユダヤ人は朗読します。現実には十戒(律法)が与えられた期間(40日40夜)彼らは金の子牛を造り、偶像礼拝をしました。そしてその結果三千人が殺されたのです。同じ日、あのベテスダの池(5つの廊＝律法を示す)で三千人が洗礼を受けて救われたことは、律法(文字)によってでなく、聖霊によって人が生きることの証明となりました(文字は人を殺し、霊は人を生かす。2コリント3の6)。

私たちが「証し人」となるのは「証の板」であるみ言葉を行う力を得ることなのです。これもまた約束(エゼキエル36の26・27/エレミヤ31の33)の成就です。

(3) 異邦人への救い・世界的な収穫の成就…